

第51回 こどもの読書週間

期間：4月23日(子ども読書の日)～5月12日

標語：「笑顔のヒミツは本の中」

今年は応募総数2357点の中から選ばれました。受賞者のことば：「ページを1枚めくるたびにドキドキわくわく、本にはいろんな力があります。その素敵な力がひとりでも多くの子どもたちに届きますように、そしていつの時代もたくさんの本を読むことで笑顔になれますように。そんな想いをこめました」

主催の社団法人読書推進運動協議会HPから、ポップ・しおり・ブックカバー等をダウンロードして自由に使用できます(<http://www.dokusyo.or.jp>)。こどもの読書週間にあわせたイベントにご活用ください。



福島県立図書館のイベント

1. ミニ展示

「本はともだち あなたとのであいをまっています」

2. 読書記録ノート「ぶっくろーど」の配布

3. はるのおはなしかい「花や昆虫も算数が好き」

開催日時：5月16日(土)13:30～

を行います。

子ども読書の日記念事業

「子どもの読書活動推進フォーラム」

期日：平成21年4月23日(木)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

主催：文部科学省、文字・活字文化推進機構など

詳細：<http://www.mojikatsuji.or.jp>

今年の記念講演は、詩人・童話作家の工藤直子氏の「子どものこころ 詩のこころ」です。

報 告

平成20年度全国公共図書館

児童・青少年部門研究集会

「子どもたちに生きる力と喜びを～読書で拓く未来～」をテーマに、平成20年11月6日～7日、栃木県総合文化センターで開催されました。

作家の柳田邦男氏が「人生の脚本は子ども時代に書かれる～本の力、絵本の力～」として基調講演を行いました。また、ヤングアダルトや乳幼児サービス、学校図書館との連携についての事例発表、日本図書館協会の坂部豪氏による「児童サービスの現状と

課題」についての基調報告と、事例発表者を含めた全体会がありました。全体会では、坂部氏が「生きる力をつける読書には、何でもよいから多く読むのではなく、心に何かを残す読書が必要であり、その読書を支援するために、図書館員は本を選び、子どもたちがその本に出会える機会を公平に与えなければならない。また、その活動を広く伝える努力が必要である。本や読み聞かせだけではなく、読書推進を子どものよりよい成長を育むための一活動として捉え、他の機関と大きなつながりを持っていかなければならない。」とまとめ、終了しました。

なお、次回は平成22年に香川県で開催されます。

平成20年度 児童文学連続講座

- 国際子ども図書館所蔵資料を使って -

平成20年11月10日～11日の2日間、「昔話」を総合テーマに開催されました。

昔話という奥の深い分野の入門編として、さまざまな角度から学ぶことができる内容でした。

詳細については、国際子ども図書館HPに講義録が掲載され(<http://www.kodomo.go.jp>)、また、冊子として出版もされますのでごらんください。

【内容】

- ・昔話の語りの様式
- ・昔話からのメッセージ
- ・日本の昔話の展開
- ・昔話の伝承の実像
- ・日本昔話のアジア的展望

【講師】

小澤俊夫 氏(小澤昔ばなし研究所主宰)

大島建彦 氏(東洋大学名誉教授)

武田正 氏(山形短期大学名誉教授)

君島久子 氏(国立民族学博物館名誉教授)

講座・研修情報

児童図書館員養成講座

前期：平成21年6月29日～7月4日[6日間]

後期：平成21年9月28日～10月7日[9日間]

場所：主として日本図書館協会

お問合せ：日本図書館協会 <http://www.jla.or.jp/>

TEL 03 3523 0811

Mail shiryoshitsu_jla.or.jp

【ご質問・情報はこちらへ 福島県立図書館・児童図書研究室】

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218 FAX 024-536-4787

第55回
青少年読書感想文全国コンクール
課題図書 速報

〈小学校低学年〉

- 「おこだでませんように」
くすのきしげのり/作 石井聖岳/絵 小学館
2008.7 1500 円
- 「しっばいにかんぱい!!」
宮川ひろ/作 小泉るみ子/絵 童心社 2008.9
1100 円
- 「ちょっとまって、きつねさん!」
カトリーン・シェラー/作 光村教育図書 2008.7
1400 円
- 「てとてとてとて」
新版 浜田桂子/さく 福音館書店 2008.4 1500 円

〈小学校中学年〉

- 「そいつの名前はエメラルド」
竹下文子/作 鈴木まもる/画 金の星社 2008.10
1300 円
- 「風をおいかけて、海へ!」
高森千穂/作 なみへい/絵 国土社 2008.1
1300 円
- 「しあわせの子犬たち」
メアリー・ラバット/作 むかいながまさ/絵
文研出版 2008.11 1200 円
- 「オランウータンのジブシー」
黒鳥英俊/著 ボブラ社 2008.9 1200 円

〈小学校高学年〉

- 「春さんのスケッチブック」
依田逸夫/作 藤本四郎/絵 汐文社 2008.11
1400 円
- 「ぼくの羊をさがして」
ヴァレリー・ハブズ/著 あすなる書房 2008.4
1300 円
- 「ヨハネスブルクへの旅」
ビヴァリー・ナイドゥー/作 橋本礼奈/画
さ・え・ら書房 2008.4 1300 円
- 「マタギに育てられたクマ」
金治直美/文 佼成出版社 2008.12 1500 円

〈中学校〉

- 「8分音符のプレリュード」
松本祐子/作 小峰書店 2008.9 1500 円
- 「時間をまきもどせ!」
ナンシー・エチメンディ/作 杉田比呂美/絵
徳間書店 2008.10 1400 円

「月のえくぼを見た男」

鹿毛敏夫/著 関屋敏隆/画 くもん出版 2008.4
1400 円

〈高等学校〉

- 「カレンダーから世界を見る」
中牧弘充/著 白水社 2008.7 1500 円
- 「縞模様のパジャマの少年」
ジョン・ポイン/作 岩波書店 2008.9 1800 円
- 「夏から夏へ」
佐藤多佳子/著 集英社 2008.7 1500 円

人気です。おいしい本たち

名作と呼ばれる絵本や児童文学には、必ずといっていいほど、印象的な食べものが出てきます。詳しく説明してあったり、さらっと絵だけで示されていたり、それぞれながら想像をかきたて、読む人をよりいっそう本の世界へ誘ってくれます。

- 「絵本からうまれたおいしいレシピ1~3」
宝島社 2005、2006
- 「絵本の中の幸せスープレシピ」
東條真千子/著 辰巳出版 2009
- 「絵本の中のおいしいスープ」
東條真千子/著 インフォレスト 2006
- 「物語のおやつ」
松本侑子/著 WAVE 出版 2003
- 「続イギリスのお話はおいしい。料理編」
白水社 1997
- 「まないたとんとん 絵本にでてくるお料理つくろ」
高山智津子、小西律子/著
清風堂書店出版部 1994
- 「赤毛のアン レシピ・ノート」*
イレーン&ケリー・クロフォード/編著
東洋書林 2000
- 「グリム家の食卓」*
ドロテーア・グリム/著 白水社 2000

ほとんどが、描かれたものからのイメージをレシピ化しているものですが、*印のものは、作者などが実際に書き記していたレシピを翻訳したものであり、当時の背景も知ることができます。

児童図書研究室の資料の中でも、学生や若いおかあさんも気軽に手に取ることができる本なので、子どもと本を楽しむきっかけとしても活用されているようです。

